

令和7年度 さいたま市食物アレルギー講演会

最新
知識

子どもの食べて治す！ 食物アレルギー

食物アレルギーに対する考え方は大きく変化しており、以前に指導されていた妊娠中や授乳中に卵や牛乳を食べない、離乳食を遅らせた方が良いという説は、すでに根拠がないと否定されています。では、どういうことに注意したらアレルギーにならないのか？ スキンケアによる経皮感作の予防、食物負荷試験や経口免疫療法といった最新のアレルギー診療、厚生労働省、文部科学省のガイドラインに基づいた給食など集団生活における対応を解説します。

アナフィラキシー 食物経口負荷試験 エピペン

講師  さいたま市民医療センター

小児科 副院長 西本 創 先生

埼玉県やさいたま市の教育委員会、子ども未来局のアレルギー対応マニュアルを監修し、行政と医療機関が連携して、アレルギー疾患に悩む子ども達が不利益なく安全に過ごすことができるよう活動されている。

医師向けの食物アレルギー診療ガイドラインの作成に携わられている。

11月30日

14:30～16:00（開場14:00～）
（座談会 講演会終了後～17:30）

場所 RaiBoC Hall 小ホール
（市民会館おみや）

申込方法

下記URLもしくは右の2次元コードからお申込みいただけます。（申込み開始9月10日）
お子様連れの場合は申込フォームよりお知らせください。

https://apply.e-tumo.jp/city-saitama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=96193



参加費無料

どなたでも

参加いただけます

定員300名

（先着）

講演後に

座談会

実施予定

※参加人数に

限りがあります

お問合せ

さいたま市子ども未来局子育て未来部 保育課

TEL 048-829-1867

FAX 048-829-2516